

微生物学(微生物学・免疫学)

| | | |
|-----|-----|---------------|
| 年次 | 学期 | 学習ユニット責任者 |
| 2年次 | 前学期 | 續橋 治 (口腔微生物学) |

| | |
|--------------------------|---|
| 学習ユニット 学習目標 (GIO) | ヒトに病原性を持つ微生物、ヒトの健康に密接に関連する微生物の基礎微生物学事項、感染、発症、予防、治療の機序と本態について学ぶ。さらには、1) 感染症はhost-parasite relationshipで成り立っているが、病原体が常在菌や平素無害菌の場合もあるので広く宿主-微生物関係として理解すること；2) 疾病の流行、病原体の感染源、感染経路などを理解するには、自然界において、微生物は突然変異などで、宿主は医学・科学を進歩させることなどで変遷してきたけれども、医学の進歩がすべて有益ということばかりでなく、同時に医療問題を起こす場合のあることも念頭におくところが大切であること；このような概念を踏まえて学ぶ。 |
| 担当教員 | 續橋 治、栞原 紀子、齋藤 真規、※平澤 正知、高田 和子 |
| 教科書 | 最新口腔微生物学 奥田克爾、石原和幸、加藤哲男 一世出版 |
| 参考図書 | 戸田新細菌学 改訂34 版 編集 吉田眞一、柳雄介、吉開泰信 南山堂 口腔内バイオフィルム 奥田克爾 医歯薬出版 |
| 評価方法 (EV) | 平常試験 (30% x 2 回)、前・後半試験 (20% x 2 回) および学習態度等により総合的に評価する。講義を1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。なお、合格点 (60 点) に達しない者に対し、再試験を行う場合があるが、講義を1/5以上欠席した場合受験資格を与えない。最終評価は微生物学2/3および免疫学1/3の割合とし、学則科目名を微生物学・免疫学と表記する。 |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | 口腔における病原微生物による疾病、すなわち感染症の予防および治療に関する基本方針の樹立を目指し、口腔微生物学の講義がその基盤の助けとなればと考えている。 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------|---|-------|
| 2014/04/01 (火) 1時限 09:00~10:30 | 感染症の変遷 | <p>【授業の一般目標】 微生物と病気との係わり合いについて説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 感染症の変遷：歴史を理解し、病原微生物の狩人達の卓越した業績について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 微生物と病気との係わり合いについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 平澤 正知 |
| 2014/04/01 (火) 2時限 10:40~12:10 | 細菌の構造と機能 | <p>【授業の一般目標】 細菌の基本的な構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 原核細胞と真核細胞の違いを説明できる。 2. 細菌の大きさや形態を説明できる。 3. 細菌の基本的な構造物の役割と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第2章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p> | 栞原 紀子 |
| 2014/04/08 (火) 1時限 09:00~10:30 | 細菌の代謝と遺伝 | <p>【授業の一般目標】 細菌の発育条件と遺伝について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細菌の増殖条件を説明できる。 2. 細菌の代謝経路を説明できる。 3. 呼吸と発酵の概念を説明できる。</p> | 栞原 紀子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------|--|-------|
| 2014/04/08 (火) 1時限 09:00～10:30 | 細菌の代謝と遺伝 | <p>4. 細菌の染色体複製、遺伝子発現について説明できる。 5. 細菌の変異について説明できる。 6. 細菌の遺伝子伝達について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第3章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p> | 栞原 紀子 |
| 2014/04/08 (火) 2時限 10:40～12:10 | 細菌の感染機構1 | <p>【授業の一般目標】 感染と発症について学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 感染の成立から発症までのプロセスを説明できる。 2. 細菌の感染経路を説明できる。 3. 細菌の病原因子を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第6章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 ア 感染の概念</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 栞原 紀子 |
| 2014/04/15 (火) 1時限 09:00～10:30 | 細菌の感染機構2 | <p>【授業の一般目標】 感染の種類と宿主の自然抵抗性を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 日和見感染、院内感染、内因感染を説明できる。 2. 宿主の物理的・生物学的バリアーを説明できる。 3. 宿主の体液性・細胞性防御因子を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第6、33章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 ウ 宿主側の因子</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。</p> | 栞原 紀子 |
| 2014/04/15 (火) 2時限 10:40～12:10 | 滅菌と消毒 | <p>【授業の一般目標】 滅菌と消毒の理論と方法を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 滅菌と消毒の違いを説明できる。 2. 主な滅菌法の理論と適応について説明できる。 3. 主な消毒法の理論と適応について説明できる。</p> | 續橋 治 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------|---|------------------------|
| 2014/04/15 (火) 2時限 10:40～12:10 | 滅菌と消毒 | <p>【準備学習項目】 教科書第7章</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ク 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *③清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。</p> | 續橋 治 |
| 2014/04/22 (火) 1時限 09:00～10:30 | 化学療法 | <p>【授業の一般目標】 微生物に対する化学療法薬の作用機序について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 細菌に対する化学療法薬の種類と作用機序を説明できる。 2. 真菌に対する化学療法薬の種類と作用機序を説明できる。 3. ウイルスに対する化学療法薬の種類と作用機序を説明できる。 4. 薬剤耐性化の機序を説明できる。 5. 副作用について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第8章</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ス 抗感染症薬</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *④化学療法の目的、原理、作用機序および薬剤耐性機序を説明できる。</p> | 續橋 治 |
| 2014/04/22 (火) 2時限 10:40～12:10 | 前半試験 | <p>【授業の一般目標】 細菌の総論についての理解度を確認する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 微生物学総論について説明できる。 2. 滅菌と消毒、化学療法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 試験範囲：微生物学総論、滅菌と消毒および化学療法</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ス 抗感染症薬 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ク 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 *③清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。</p> | 續橋 治 栗原 紀子 齋藤 真規 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------|---|------------------------|
| 2014/04/22 (火) 2時限 10:40～12:10 | 前半試験 | *④化学療法の目的、原理、作用機序および薬剤耐性機序を説明できる。 | 續橋 治 栞原 紀子 齋藤 真規 |
| 2014/05/13 (火) 1時限 09:00～10:30 | グラム陽性球菌感染症 | <p>【授業の一般目標】 ブドウ球菌・レンサ球菌感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.ブドウ球菌、レンサ球菌の基本的性状について説明できる。 2.黄色ブドウ球菌の病原性について説明できる。 3.化膿レンサ球菌、肺炎球菌、B群レンサ球菌の病原性について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第16、17章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p> | 續橋 治 |
| 2014/05/13 (火) 2時限 10:40～12:10 | グラム陰性球菌感染症 | <p>【授業の一般目標】 ナイセリア属菌の感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.淋菌の基本的性状と病原性を説明できる。 2.髄膜炎菌の基本的性状と病原性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ナイセリア属菌の感染症について説明できる。教科書第18章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 齋藤 真規 |
| 2014/05/20 (火) 1時限 09:00～10:30 | グラム陽性桿菌感染症 | <p>【授業の一般目標】 グラム陽性桿菌の感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.ジフテリア菌の基本的性状と病原性を説明できる。 2.リステリア菌の基本的性状と病原性を説明できる。 3.炭疽菌、セレウス菌の基本的性状と病原性を説明できる。 4.破傷風菌、ボツリヌス菌、ウェルシュ菌、デフィシル菌の基本的性状と病原性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 グラム陽性桿菌の感染症について説明できる。教科書20章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明で</p> | 齋藤 真規 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------|--|------------------------|
| 2014/05/20 (火) 1時限 09:00～10:30 | グラム陽性桿菌感染症 | きる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 | 齋藤 真規 |
| 2014/05/20 (火) 2時限 10:40～12:10 | 抗酸菌感染症 | 【授業の一般目標】 病原性グラム陽性桿菌の感染症について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ジフテリア菌の基本的性状と病原性を説明できる。 2. リステリア菌の基本的性状と病原性を説明できる。 3. 炭疽菌、セレウス菌の基本的性状と病原性を説明できる。 4. 破傷風菌、ボツリヌス菌、ウェルシュ菌、デフィシル菌の基本的性状と病原性を説明できる。 【準備学習項目】 病原性グラム陽性桿菌の感染症について説明できる。教科書第19章 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 | 齋藤 真規 |
| 2014/05/27 (火) 1時限 09:00～10:30 | 平常試験1 | 【授業の一般目標】 微生物学各論(一般細菌)について理解度の確認をする。 【行動目標 (SBOs)】 1. 微生物 (一般細菌) について述べることができる。 【準備学習項目】 試験範囲: グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陽性桿菌、抗酸菌 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 | 續橋 治 栞原 紀子 齋藤 真規 |
| 2014/05/27 (火) 2時限 10:40～12:10 | 平常試験1 | 【授業の一般目標】 試験 【行動目標 (SBOs)】 1. 微生物 (一般細菌) について述べることができる。 【準備学習項目】 試験 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】 | 續橋 治 栞原 紀子 齋藤 真規 |
| 2014/06/03 (火) 1時限 09:00～10:30 | グラム陰性桿菌感染症 | 【授業の一般目標】 グラム陰性桿菌による感染症を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 緑膿菌、百日咳菌、レジオネラ菌の基本的性状と病原性を説明できる。 2. 腸内細菌科の基本的性状を説明できる。 3. 下痢原性大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌群の病原性を説明できる。 | 齋藤 真規 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|--|-------|
| 2014/06/03 (火) 1時限 09:00～10:30 | グラム陰性桿菌感染症 | 4. ペスト菌、腸炎エルシニア、コレラ菌、腸炎ビブリオの病原性を説明できる。 【準備学習項目】 グラム陰性桿菌による感染症を説明できる。教科書第21章 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 | 齋藤 真規 |
| 2014/06/03 (火) 2時限 10:40～12:10 | スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア感染症 | 【授業の一般目標】 スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア感染症について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. スピロヘータの基本的性状とトレボネーマ、ボレリア、レプトスピラ感染症について説明できる。 2. マイコプラズマの基本的性状と感染症について説明できる。 3. リケッチアの基本的性状と感染症について説明できる。 【準備学習項目】 教科書第22、23、24章 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 | 平澤 正知 |
| 2014/06/10 (火) 1時限 09:00～10:30 | クラミジア、真菌、原虫感染症 | 【授業の一般目標】 クラミジア、真菌、原虫の感染症を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. クラミジアの基本的性状と感染症について説明できる。 2. 真菌の基本的性状と感染症について説明できる。 3. 原虫の基本的性状と感染症について説明できる。 【準備学習項目】 教科書第24、32章 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 | 續橋 治 |
| 2014/06/10 (火) 2時限 10:40～12:10 | ウイルスの概念と基本的構造 | 【授業の一般目標】 ウイルスの基本的構造を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. ウイルスの概念を説明できる。 2. ウイルスの基本的な構造を説明できる。 | 高田 和子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------|---|-------|
| 2014/06/10 (火) 2時限 10:40～12:10 | ウイルスの概念と 基本的構造 | <p>【準備学習項目】 教科書第25章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p> | 高田 和子 |
| 2014/06/17 (火) 1時限 09:00～10:30 | ウイルスの感染機 構 | <p>【授業の一般目標】 ウイルスの増殖様式と予防ワクチンについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ウイルスの感染、増殖過程を説明できる。 2. ウイルスと標的細胞について説明できる。 3. 予防ワクチンについて説明できる。 4. 腫瘍ウイルスの種類を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第25、26章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 栗原 紀子 |
| 2014/06/17 (火) 2時限 10:40～12:10 | ウイルス感染症1 | <p>【授業の一般目標】 ヘルペスウイルス感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ヘルペスウイルスの基本的性状を説明できる。 2. ヘルペスウイルス感染症の初感染と回帰発症を述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第27章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 栗原 紀子 |
| 2014/06/24 (火) 1時限 09:00～10:30 | ウイルス感染症2 | <p>【授業の一般目標】 肝炎ウイルス、レトロウイルス感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 肝炎ウイルスの基本的性状を説明できる。 2. 肝炎ウイルスの病原性を説明できる。 3. 予防ワクチンを説明できる。 4. レトロウイルスの基本的性状を説明できる。 5. HIV、HTLV-1感染症を説明できる。</p> | 栗原 紀子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------|--|------------------------|
| 2014/06/24 (火) 1時限 09:00～10:30 | ウイルス感染症2 | <p>【準備学習項目】 教科書第28、29章</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 栗原 紀子 |
| 2014/06/24 (火) 2時限 10:40～12:10 | ウイルス感染症3 | <p>【授業の一般目標】 様々なウイルス感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. インフルエンザウイルス感染症を説明できる。 2. ポリオウイルス、コクサッキーウイルス感染を説明できる。 3. 麻疹ウイルス、風疹ウイルス感染症を説明できる。 4. ムンプスウイルス、出血熱ウイルス感染症を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書30、31章</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 栗原 紀子 |
| 2014/07/01 (火) 1時限 09:00～10:30 | 後半試験 | <p>【授業の一般目標】 微生物各論、ウイルスについて理解度の確認を行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 微生物学各論(一般細菌)について述べるができる。 2. ウイルス総論、各論について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 試験範囲：グラム陰性桿菌、スピロヘータ、リケッチア、クラミジア、真菌、ウイルス</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 續橋 治 栗原 紀子 齋藤 真規 |
| 2014/07/01 (火) 2時限 10:40～12:10 | 口腔内細菌の生態 | <p>【授業の一般目標】 口腔内細菌叢について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔内各部位の細菌叢を説明できる。 2. ペリクルについて説明できる。</p> | 齋藤 真規 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------|--|-------|
| 2014/07/01 (火) 2時限 10:40～12:10 | 口腔内細菌の生態 | 3. プラーク形成過程を説明できる。 【準備学習項目】 教科書34章 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 エ 口腔の生態系 a 常在微生物叢 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 | 齋藤 真規 |
| 2014/07/08 (火) 1時限 09:00～10:30 | 口腔レンサ球菌 | 【授業の一般目標】 口腔レンサ球菌について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔レンサ球菌群の分類と性状を説明できる。 2. ミュータンス菌群の齶蝕原性と病原因子を説明できる。 【準備学習項目】 口腔レンサ球菌群およびミュータンス菌群について説明できる。教科書35章 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 エ 口腔の生態系 d プラーク<口腔バイオフィルム> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 | 齋藤 真規 |
| 2014/07/08 (火) 2時限 10:40～12:10 | 齶蝕症 | 【授業の一般目標】 齶蝕原性細菌と齶蝕発症機序について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 齶蝕発症機序を説明できる。 2. 齶蝕予防法を説明できる。 【準備学習項目】 齶蝕の発症機序と予防法について説明できる。教科書41章 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 1 齶蝕の予防・管理 ア 齶蝕の原因 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 | 平澤 正知 |
| 2014/07/15 (火) 1時限 09:00～10:30 | 口腔グラム陰性桿菌とスピロヘータ | 【授業の一般目標】 口腔内に生息するグラム陰性桿菌とスピロヘータについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 主な口腔グラム陰性桿菌の基本的性状を説明できる。 2. 口腔スピロヘータの基本的性状を説明できる。 【準備学習項目】 主な口腔グラム陰性桿菌とスピロヘータの基本的性状について説明できる。教 | 續橋 治 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|--|-------|
| 2014/07/15 (火) 1時限 09:00～10:30 | 口腔グラム陰性桿菌とスピロヘータ | <p>科書37, 38章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 2 歯周病の予防・管理 ア 歯周病の病因</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 續橋 治 |
| 2014/07/15 (火) 2時限 10:40～12:10 | 歯周病 | <p>【授業の一般目標】 歯周病について細菌学的側面から理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 主な歯周病原性細菌の基本的性状と病原性を説明できる。 2. 歯周炎発症の局所的要因について説明できる、</p> <p>【準備学習項目】 主な歯周病原性細菌および歯周炎発症の局所要因について説明できる。教科書43章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 2 歯周病の予防・管理 ア 歯周病の病因</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 續橋 治 |
| 2014/07/22 (火) 1時限 09:00～10:30 | 顎口腔領域に症状を呈する感染症 (齶蝕症・歯周病を除く) | <p>【授業の一般目標】 顎口腔領域に症状を呈する感染症 (齶蝕症・歯周病を除く) について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎放線菌症を説明できる。 2. 口腔カンジダ症を説明できる。 3. ウイルス感染症による特異的な口腔症状を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顎顔面領域に症状を呈する感染症 (齶蝕症・歯周病) を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ケ 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 16 口腔症状を呈する疾患 ア ウイルス感染症 イ 細菌感染症</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 齋藤 真規 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|------------------------|
| 2014/07/22 (火) 1時限 09:00~10:30 | 顎口腔領域に症状を呈する感染症(齶蝕症・歯周病を除く) | 生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 | 齋藤 真規 |
| 2014/07/22 (火) 2時限 10:40~12:10 | 口腔細菌の全身疾患の関わり | <p>【授業の一般目標】 口腔常在菌と全身疾患への関わりについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細菌性心内膜炎の原因と発症機序を説明できる。 2. 誤嚥性肺炎の原因と発症機序を説明できる。 3. 歯周疾患と基質疾患との相互関係について説明できる。 4. 歯周疾患の妊婦への影響を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔常在菌と全身疾患への関わりについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 エ 感染症</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染</p> <p>*②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 齋藤 真規 |
| 2014/09/09 (火) 1時限 09:00~10:30 | 平常試験2 | <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 微生物学各論(口腔細菌)について説明できる。 2. 齶蝕および周病原性細菌について説明できる。 3. 口腔微生物と口腔・全身疾患の関与について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 試験範囲：口腔微生物、齶蝕症、歯周病、口腔微生物と全身疾患</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> | 續橋 治 菜原 紀子 齋藤 真規 |
| 2014/09/09 (火) 2時限 10:40~12:10 | 平常試験2 | <p>【授業の一般目標】 試験</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 微生物学各論(口腔細菌)について説明できる。 2. 齶蝕および周病原性細菌について説明できる。 3. 口腔微生物と口腔・全身疾患の関与について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 續橋 治 菜原 紀子 齋藤 真規 |